



清南小だより



R7・9・12
校長 佐藤 裕

～たくましい子・思いやりのある子・よく学ぶ子～



【7月18日（金）】夏休み前朝会 校長講話「80年前、宇都宮大空襲がありました。」



7月18日（金）の夏休み前の朝会で、80年前の「宇都宮大空襲」の話をしました。80回目の8月6日広島・8月9日長崎の原爆の日、8月15日の終戦を迎えるにあたり、子供たちと保護者の皆様と一緒に「平和の尊さ」「命の大切さ」を考えてもらう機会となればと思います。

【夏休み前朝会 校長講話】

1週間前の7月12日（土）、下野新聞から「宇都宮大空襲」の見出しで新聞が配られました。大空襲から80年がたち、戦争の悲惨さを今に伝えるために特集紙面として発行されたものです。80年前の宇都宮で何があったのでしょうか？

80年前、日本はアメリカと戦争をしていました。80年前の7月12日午後11時19分～13日午前1時39分のおよそ2時間、115機のB29爆撃機が宇都宮に飛来して1万を超える「焼夷弾」という爆弾を落としました。600人を超える人が亡くなり、9000件を超える家が焼け落ちて、宇都宮駅から東武宇都宮駅までの大部分が焼け野原となりました。宇都宮市には陸軍の基地があったこと、そして飛行機を作る工場があったことなどからアメリカ軍の爆撃対象となったのです。（この後、宇都宮平和祈念館を作る会作成の紙芝居動画「火の海になった宇都宮」を視聴。低学年児童へ配慮し、内容を吟味して6分間の抜粋で行う。）

この空からの写真は飛行場を写したものです。左側に写っているのが鬼怒川です。今から80年前、清原中学校や作新大学から清原工業団地にかけて、「宇都宮陸軍飛行場」と言う飛行場がありました。みんなが住んでいる清原地区（当時は清原村）でも、アメリカ軍の空襲（機銃掃射）があったそうです。今でも、栃木県農業大学校（宇都宮市上籠谷町）の敷地には、日本軍の飛行機をアメリカ軍の空襲から守るために作った「掩体壕（えんたいごう）」という建物が保存されています。



宇都宮陸軍飛行場
（清原・鑑山飛行場）

皆さんに質問です。校長先生が話した「宇都宮大空襲」の時に生まれた赤ちゃんは今何歳になっているでしょう？そう80才になります。その時、小学生・中学生だった人は90才くらいになります。今、たくさんの方々が、戦争を知らない皆さんに戦争の体験を伝えるために尽力してくれています。80年前に宇都宮市大空襲で焼け野原となった宇都宮市は、写真にあるように50万人を超える中核市へと復興を遂げました。焼け焦げた「大イチョウ」は、青々とした葉を茂らせ宇都宮市復興のシンボルとなっています。これも、戦禍を乗り越えた先人の方々のお陰であることを忘れてはいけません。

これから41日間の夏休みが始まります。夏休みの間に、戦後80回目の「原爆の日」や「終戦記念日」を迎えます。宇都宮市では、7月12日を「宇都宮市 平和の日」、7月12日から8月15日までの期間を「宇都宮市 平和月間」に定め、戦争の悲惨さや平和の大切さをみんなに伝えています。皆さんも、お家の人と一緒に「平和の尊さ」「命の大切さ」について考えてみてください。



7月19日（土） PTA親子奉仕作業



夏休み初日の早朝に、たくさんの保護者の皆様と子供たち、教職員により、草むしりやトイレ掃除等が行われました。7時から8時までのおよそ1時間の作業で、校庭の草はすっかりなくなり、トイレもピカピカに磨き上げられ、学校全体がとても気持ちの良い空間になりました。今後も今まで以上に、自然に恵まれた清原南小学校を大切に使用していきたいと思います。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

8月29日（金）夏休み明け朝会 校長講話「生きてるって 素晴らしい！」



今日は「生きることにについて」の話をします。一本のライ麦の根は1万キロを超える長さに伸び、私たちの血管も地球を2周半するほどあります。目に見えないところで必死に働く力が、命を支えているのです。「生きる」って、すばらしく、そしてたくましいですね。

漫画家の「やなせたかし」さんも、思うように夢がかなわず落ち込んでいた時、光に手を透かした際の血の流れに気づき「生きているってすばらしい」と感じたそうです。この時生まれた歌が「手のひらを太陽に」です。そして、80年前の中国での戦争体験から「世の中で一番つらいのは、食べられないこと、お腹が減ること」「一番の正義は何かといえば、ひもじい人を助けること」「自分が傷ついても人を助ける本当のヒーローを描きたい。」との思いを持つようになり、夢をあきらめることなく一生懸命に努力して「正義のヒーロー・アンパンマン」を生み出しました。

みなさん、生きているすばらしさを感じ取り、今できることに一生懸命取り組み、「やなせたかし」さんがアンパンマンを生み出したように、自分の大きな夢をかなえられるようがんばっていきましょう。1学期は約100日あります。残りの授業日、29日を一日一日大切に過ごしていきましょう。



地域の皆様へ、登下校中の見守りのご協力をお願いいたします。

記録的な猛暑が続いており、熱中症の予防と早期対応が重要です。大人に比べて身長が低く、顔や頭が地面に近い子供たちにとっては大きな問題です。下校時刻の暑さ指数（WBGT）が高い時には、教室で待機させたり保護者へ引取りをお願いしたりする対応をとることがあります。また、帽子や日傘、クールタオル等の保冷用具の活用を推奨しています。

さらに、登下校中に体調が悪くなってしまった際には、近くの大人や「こども110番の家」等に助けを求めるよう指導しています。地域の皆様には、大変お世話になりますが、引き続き、見守り等よろしくお願いいたします。

**熱中症
予防**